

開会の辞

日本語教育センターシンポジウム 2020

正規学部留学生受け入れの 新時代に向けて ー海外の中等教育の事情に学ぶー



国際センター 副センター長、
経済学部 教授
巖 成男

○藤田 時間になりましたので、始めます。皆様、本日はお忙しい中、立教大学日本語教育センターシンポジウム 2020 にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。今回は初めてオンラインでの開催となりました。私、本日の司会進行役を務めます、日本語教育センターセンター員の藤田恵と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本シンポジウムは、Zoom のウェビナーの録画機能を使って記録をさせていただきます。後日、本シンポジウムの内容をまとめた冊子を作成する際と、本センターの広報にこの記録を使用させていただきます。ご了承の上、ご視聴をお願いいたします。

それでは、初めに、開会の辞を頂戴いたします。立教大学国際センター副センター長、経済学部教授の巖成男先生、お願いいたします。

○巖 皆様、こんにちは、立教大学国際センター副センター長の巖成男です。本日はお忙しい中、本学の日本語教育センター主催の公開シンポジウム「正規学部留学生受け入れの新時代に向けてー海外の中等教育の事情に学ぶ」にご参加くださり、厚くお礼申し上げます。世界的にも、日本国内でも新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大学での学びを含めて社会のさまざまな活動が影響を受けている今日において、本日、オンライン会議という新しい形ではありますが、日本語教育センターの毎年恒例の公開シンポジウムがこのように開催されることを大変うれしく思っております。日本語教育センターの丸山センター長をはじめ先生方、事務方の皆様は、おそらく例年の数倍の手間をかけ、また数倍の努力をされたことと思います。その賜物でこのようにシンポジウムを開催することができたと存

じております。

本日のシンポジウム「正規学部留学生受け入れ新時代に向けて」は、これまで本学が進めてきた国際化戦略の新たなステージ、とりわけ 2022 年度よりスタートする新しいタイプの正規学部留学生の受け入れ制度の実施に合わせて企画されたものと同っております。これから受け入れる予定の新しいタイプの留学生の出身地域となるベトナム、インドネシア、そしてモンゴルから、現地で日本語教育に携わっている先生方をお迎えして、各国における日本語教育の実態や動向などについて紹介していただけることは、2022 年度からスタートする新しいタイプの留学生受け入れの取り組みを確実かつ順調に進めていくために非常に重要な要素となると思っております。

立教大学は、1874 年にアメリカから来日した宣教師のチャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が聖書と英学を教える私塾として設立した当初から、もうすでに国際色豊かな学校でありました。そして現在、建学 150 周年を迎えようとする本学の飛躍に向けた国際化の取り組みとして、新しいタイプの正規学部留学生受け入れ制度が始まろうとしております。国際化推進機構のリーダーシップのもと、立教大学の広報、入試、カリキュラム、奨学金、国際交流寮、キャリアなどにかかわる各部署から担当者が集まって、週 2 回のペースで議論を重ねながら制度の完成に向けて努力しているところでございます。この新しい留学生制度の詳細につきましては、後にこの制度を考案され、その陣頭指揮をとっていらっしゃる池田伸子副総長兼国際化推進機構長より紹介されるものと存じます。

本日のシンポジウムには 3 名の海外の専門家に加えて、モンゴルやインドネシアからたくさんの方々が視聴されていると同っております。また、日本国内からも日本語教育や留学生事務、教育に携わっているたくさんの方々が参加されております。ここで立教大学のみならず、日本全体の留学生の受け入れにかかわるさまざまな事柄について活発な議論が行われることを祈念いたしまして開会の挨拶といたします。

○藤田 厳先生、ありがとうございました。それでは皆様、初めに本日の資料の配布についてご説明します。配布資料ですが、本日は Google ドライブを使ってお渡しいたします。ただいまから Zoom のチャット欄でダウンロード用の URL をお知らせいたしますので、そちらからダウンロードをなさってください。この URL は定期的にチャット欄にお流しいたしますが、ダウンロードは一度し

ていただくだけで結構です。

それでは、本日の流れをご説明します。本日のシンポジウムのテーマは「正規学部留学生受け入れの新時代に向けて～海外の中等教育の事情に学ぶ」です。本日は5名の先生方にご講演をいただきます。まずは、パネリストの先生方をご紹介します。初めに、本シンポジウムのコーディネーターで日本語教育センター長、異文化コミュニケーション学部教授の丸山千歌先生です。続きまして、ベトナムからおつなぎいただいています。ベトナム国家大学ハノイ校、外国語大学日本言語文化学部講師、タン・テイ・ミビン先生です。続きまして、インドネシアからおつなぎくださっています。ジョグジャカルタ第一国立高校教員、インドネシア全国中学校・高校日本語教師会会長ルッシー・ノヴァリダ・リドワン先生です。続きまして、モンゴルからおつなぎくださっています新モンゴル学園専務理事、ガルバドラッハ・トゴス先生です。最後に、本学国際化推進機構長、異文化コミュニケーション学部教授の池田伸子先生です。各先生方のご講演の後には質問の時間を短くする予定であります。ここでは事実確認程度のご質問をお受けしたいと思います。また、5名の先生方のご講演が終わった後に、全体討議の時間をとっておりますので、その時間にまとめてご質問いただくのでも結構です。なお、ご質問の際には、ご所属とお名前をお願いいたします。それでは、早速講演にまいります。